

【2020年度/専門科目領域/専門科目群/福祉心理学科】

| 科目名 | ナンバリング | 区分(必修・選択) | 単位数 | 履修年次 | 開講学期等 |
|--------------|---|------------------|----------------|-----------------|-------|
| 相談援助演習Ⅱ | | 必修(社) 選択(精.心) | 2 | 2 | 後期 |
| 担当教員 | 研究室 | 電子メール ID | | オフィスアワー | |
| 梅沢 佳裕 | B310 | y.umezawa | | 水曜日 12:10~13:00 | |
| 授業の目的・概要 | <p>〈目的〉演習を通じて社会福祉士としての知識・技術の理解をはかり、ソーシャルワーク専門職に必要なとされる基本的なコミュニケーション技法を習得することが目的である。</p> <p>〈概要〉講義では、基本的なコミュニケーション技法等について、同時双方向型授業及び登校型授業を通じて事例を用いながら、グループワーク(討議)を中心に演習を行い、成果発表を通して互いに意見を共有しながら学習を進める。</p> | | | | |
| 学習上の助言 | テキストを中心に演習事例などに取り組み、グループ討議や個人での考察を行う。理解できなかったところや疑問点は、授業内での発言またはリアクションペーパーを活用して積極的に質問して欲しい。 | | | | |
| 教科書 | 「社会福祉士 相談援助演習」第2版/編：長谷川匡俊、上野谷佳代子、白澤政和、中谷陽明/中央法規出版 | | | | |
| 参考書 | 講義内で指示する | | | | |
| 学生が達成すべき行動目標 | | | | 関連卒業認定・学位授与方針 | |
| ① | 基本的なコミュニケーション技術を説明することができる。 | | | 社(2) | |
| ② | 基本的なコミュニケーション技術を使うことができる。 | | | 社(2) | |
| ③ | プレゼンテーションを行うことができる。 | | | 社(2) | |
| ④ | 相談援助における面接の意義を説明することができる。 | | | 社(2) | |
| ⑤ | 相談援助におけるインテーク面接を行うことができる。 | | | 社(2) | |
| ⑥ | | | | | |
| 授 業 計 画 | | | | | |
| 回 | 学習内容等 | 授業方法 | 学習課題・学習時間(時間) | | |
| 1 | 講義契約、講義の概略、講義の進めかた、学びの方法について理解し「論」「演習」「実習」との関連を理解する | 登校型授業 講義・演習 | テキスト精読による予習・復習 | 4 | |
| 2 | 基本的なコミュニケーション技術を理解する フィードバック：授業時間内に実施 意見交換の機会：授業時間内に実施 | 登校型授業 講義・演習 | テキスト精読による予習・復習 | 4 | |
| 3 | 基本的なコミュニケーション技術を体験する フィードバック：授業時間内に実施 意見交換の機会：授業時間内に実施 | 登校型授業 講義・演習 | テキスト精読による予習・復習 | 4 | |
| 4 | アイデアを出して情報を整理する際のコミュニケーション方法を理解する 《レポート課題の出題》 フィードバック：授業時間内に実施 意見交換の機会：授業時間内に実施 | 登校型授業 講義・演習 | テキスト精読による予習・復習 | 4 | |
| 5 | 議論を促進する際のコミュニケーション方法を理解する フィードバック：授業時間内に実施 意見交換の機会：授業時間内に実施 | 登校型授業 講義・演習 | テキスト精読による予習・復習 | 4 | |
| 6 | アイデアを出して情報を整理する際のコミュニケーションを理解する フィードバック：授業時間内に実施 意見交換の機会：授業時間内に実施 | 登校型授業 講義・演習 | テキスト精読による予習・復習 | 4 | |
| 7 | プレゼンテーションを行う際のコミュニケーション技術を体験する フィードバック：授業時間内に実施 意見交換の機会：授業時間内に実施 | 登校型授業 講義・演習 | テキスト精読による予習・復習 | 4 | |
| 8 | プレゼンテーションを行う際のコミュニケーション技術を体験する フィードバック：授業時間内に実施 意見交換の機会：授業時間内に実施 | 登校型授業 講義・演習 | テキスト精読による予習・復習 | 4 | |
| 9 | 相談援助における面接技術を理解する フィードバック：授業時間内に実施 意見交換の機会：授業時間内に実施 | 登校型授業 講義・演習 | テキスト精読による予習・復習 | 4 | |
| 10 | 面接の基盤を理解する フィードバック：授業時間内に実施 意見交換の機会：授業時間内に実施 | 登校型授業 講義・演習 | テキスト精読による予習・復習 | 4 | |
| 11 | 面接における基本的応答技法を理解する フィードバック：授業時間内に実施 意見交換の機会：授業時間内に実施 | 登校型授業 講義・演習 | テキスト精読による予習・復習 | 4 | |
| 12 | 面接における基本的応答技法を体験する フィードバック：授業時間内に実施 意見交換の機会：授業時間内に実施 | 登校型授業 講義・演習 | テキスト精読による予習・復習 | 4 | |

【2020年度/専門科目領域/専門科目群/福祉心理学科】

| | | | | |
|----|---|----------------|--------------------|---|
| 13 | ロールプレイを行い基本的な面接技法を身につける フィードバック：授業時間内に実施 意見交換の機会：授業時間内に実施 | 登校型授業 講義・演習 | テキスト精読による予 習・復習 | 4 |
| 14 | ロールプレイを行い基本的な面接技法を身につける フィードバック：授業時間内に実施 意見交換の機会：授業時間内に実施 | 登校型授業 講義・演習 | テキスト精読による予 習・復習 | 4 |
| 15 | 基本的な面接技法のまとめおよび後期の振り返りを行う フィードバック：授業時間内に実施 意見交換の機会：授業時間内に実施 | 登校型授業 講義・演習 | テキスト精読による予 習・復習 | 4 |
| 試 | 定期試験を実施する 達成度評価・評価のポイントを参照 | | | |

達成度評価

| 総合評価割合 (%) | | 試験 | レポート | 成果発表 | ポートフォリオ | その他 | 合計 |
|------------|-------------|----|------|------|---------|-----|-----|
| | | 0 | 30 | 30 | 0 | 40 | 100 |
| 総合力指標 | 知識・技術力 | 0 | 10 | 0 | 0 | 0 | 10 |
| | 思考・推論・創造する力 | 0 | 10 | 0 | 0 | 0 | 10 |
| | 協調性・リーダーシップ | 0 | 0 | 0 | 0 | 5 | 5 |
| | 発表・表現伝達する力 | 0 | 10 | 10 | 0 | 10 | 30 |
| | コミュニケーション力 | 0 | 0 | 10 | 0 | 10 | 20 |
| | 取組みの姿勢・意欲 | 0 | 0 | 5 | 0 | 10 | 15 |
| | 問題を発見・解決する力 | 0 | 0 | 5 | 0 | 5 | 10 |

評価のポイント

| 評価方法 | 行動目標 | 評価の実施方法と注意点 | フィードバックの方法 |
|---------|------|---|---|
| 試験 | ① | 講義で学んだ知識を確認する。 試験では、講義中に説明した内容やテキスト及び配布資料から必ず出題する。 | 試験の答案用紙は返却しない。希望者には採点した答案を開示し、解説を行う。 |
| | ② | | |
| | ③ | | |
| | ④ | | |
| | ⑤ | | |
| | ⑥ | | |
| レポート | ① | 学生が学んだことの理解度を振り返り、確認するため、レポートを課して、まとめて論じる力を問う。 | レポートは添削評価して、返却する。 |
| | ② | | |
| | ③ | | |
| | ④ | | |
| | ⑤ | | |
| | ⑥ | | |
| 成果発表 | ① | ロールプレイを通じて学んだ基本的な面接応答技法を基にして、クライアント・家族との面接事例などを例題とした実践場面を想定した面接試験を行う。 | 面接試験の後に、自身の面接応答技法を振り返り、ミニットペーパーにて自己評価を行う。 |
| | ② | | |
| | ③ | | |
| | ④ | | |
| | ⑤ | | |
| | ⑥ | | |
| ポートフォリオ | ① | | |
| | ② | | |
| | ③ | | |
| | ④ | | |
| | ⑤ | | |
| | ⑥ | | |
| その他 | ① | 演習への参加状況、取り組み状況および授業中に行う提出課題の達成度により評価する。 | 講義中及びオフィスアワーにて総評を行う。 |
| | ② | | |
| | ③ | | |
| | ④ | | |
| | ⑤ | | |
| | ⑥ | | |

備考

【実務経験のある教員による授業科目】

教員の実務経験：ソーシャルワーカー、社会福祉士として7年3か月の臨床経験。

実践的授業の内容：授業では教科書に記載されている一般的事項を教えつつ、社会福祉士としての教員自身の実例を示し、その実践知と教科書に記載されている理論知を比較しながら学習する。